



愛知県岡崎市 行政視察のご案内



岡崎市議会事務局
(令和5年3月)

ようこそ、岡崎市へ

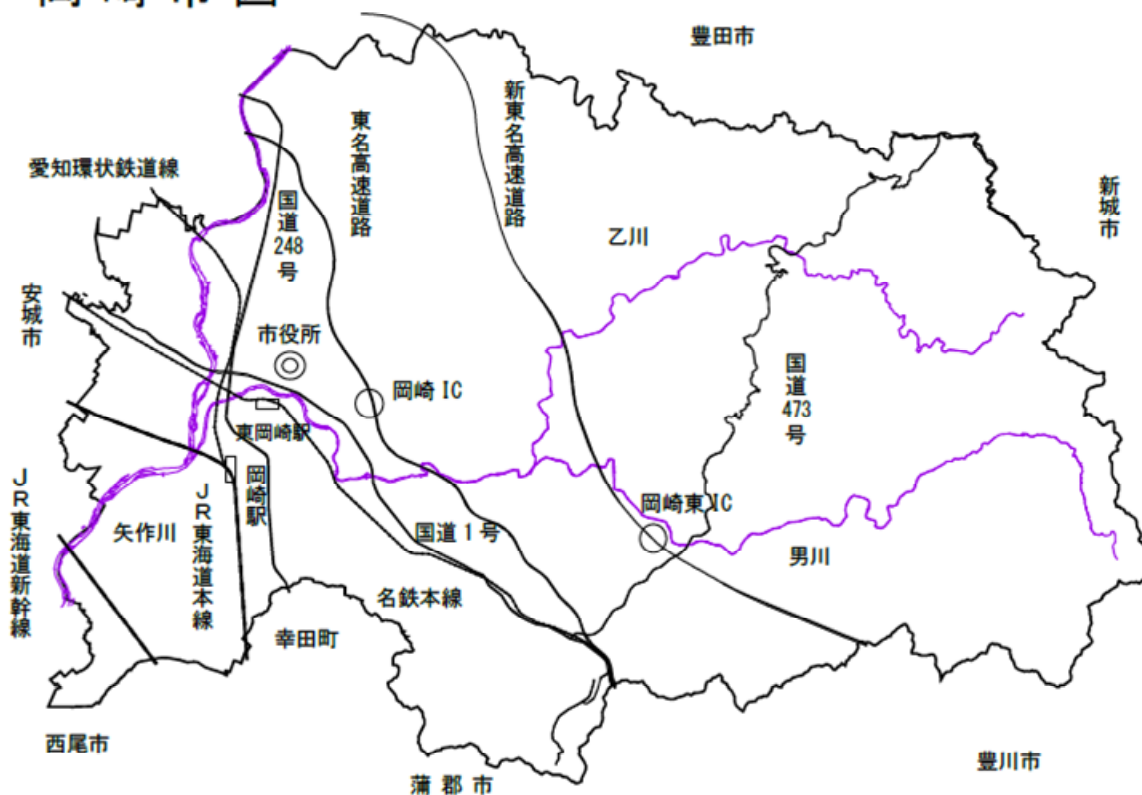
岡崎市は、愛知県のほぼ中央に位置し、東部、北部の丘陵地と、まちの中心を流れる矢作川、乙川が素晴らしい景観をつくり出しています。

徳川家康公生誕の地、三河武士発祥の地として歴史と伝統を持つまちで、古くから西三河の中心都市としての役割を果たしてきました。伝統産業として味噌、石製品、花火などがあり、近年では自動車関連、化学、繊維工業が盛んで、農・工・商の調和のとれたまちとして発展を続けています。

岡崎市の花の一つである「フジ」の花言葉は「歓迎」です。本市では、おもてなしの心で皆様の行政視察をお受けいたしております。

行政視察をご計画の際は、本市を視察地としてご検討いただければ幸いです。

岡崎市図



地勢・人口	面積	東西	南北	周囲	東経	北緯
	387.20km ²	29.1km	20.2km	133.8 km	137° 10′ 23″	34° 57′ 17″
					(市役所所在地)	
	人口					世帯数
	男性		女性		合計	168,110 世帯
	194,766 人		189,502 人		384,268 人	

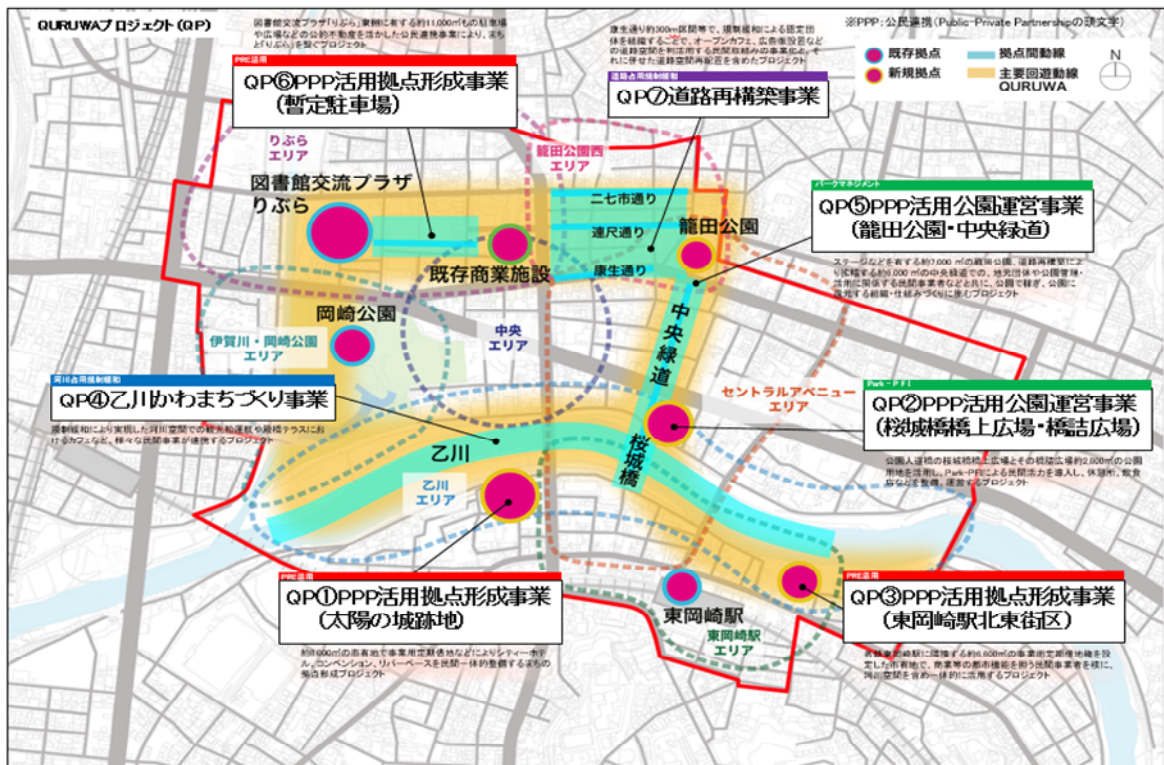
(令和5年2月末現在)

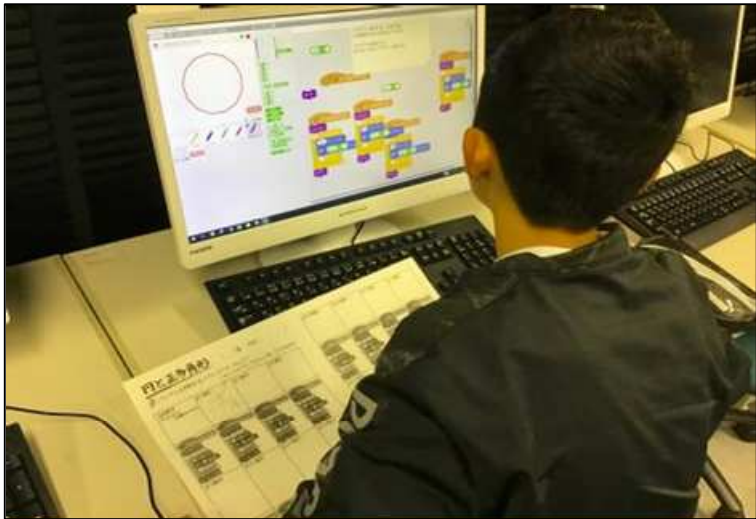
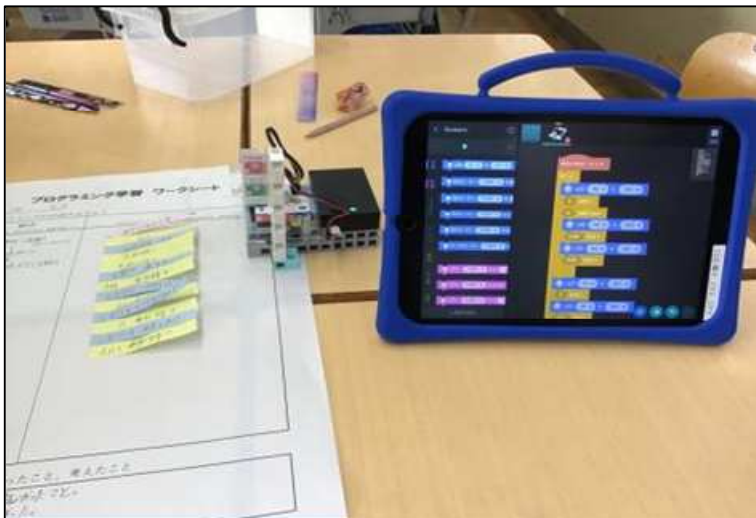
愛知県岡崎市 行政視察のご案内

目 次

(頁)

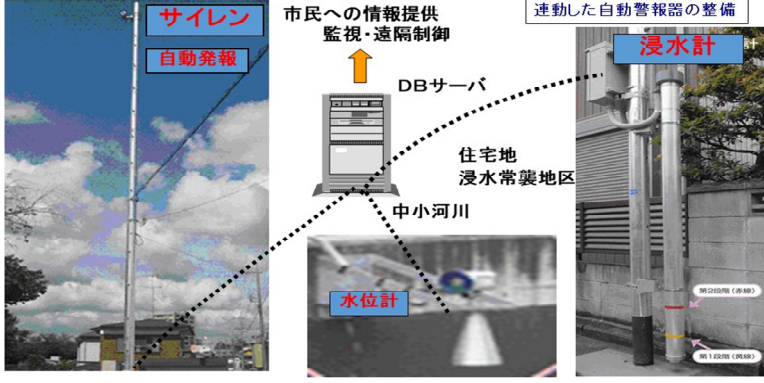
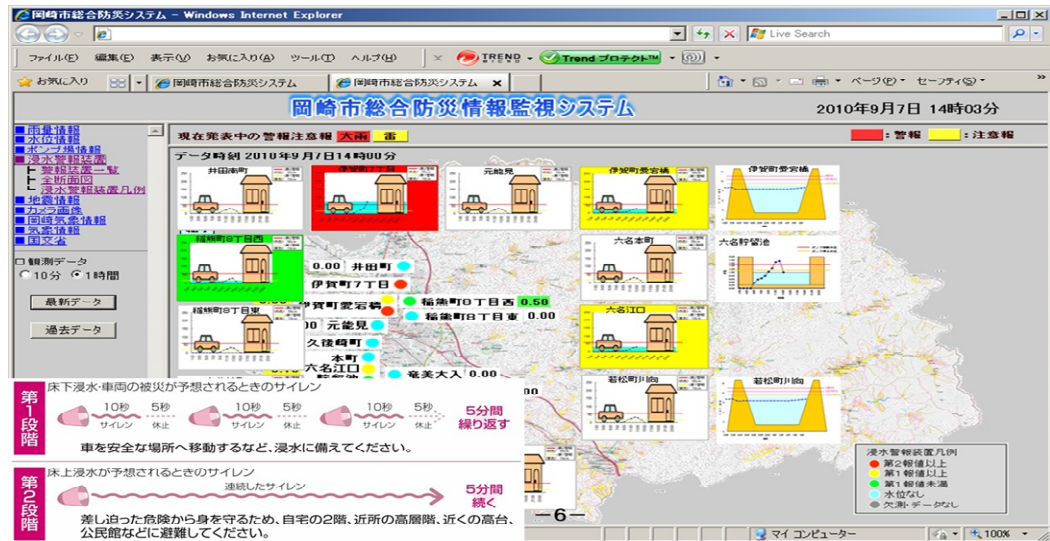
○ QURUWA 戦略	
ー乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画ー	1
○ 「岡崎市プログラミング学習」の全市的な実施	2
○ 岡崎市こども発達センター等整備運営事業（こども発達センター） ..	3
○ 自主防災活動支援事業	4
○ 平成20年8月末豪雨と浸水警報装置整備事業	5
○ 中央クリーンセンター運営事業	6
○ 道の駅「藤川宿」整備事業	7
○ 災害現場映像通報システム	8
○ 岡崎駅東土地地区画整理事業	9
○ 岡崎市民会館施設整備事業	10
○ 岡崎市こども発達センター等整備運営事業（友愛の家）	11
○ 株式会社岡崎さくら電力	12
○ 脱炭素先行地域事業	13
○ 児童生徒健全育成推進事業（校内フリースクール）	14
○ 大河ドラマ「どうする家康」活用推進事業	15

事業名	QURUWA戦略 ―乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画―				
事業期間	平成30年度～	事業費	総事業費 0千円		
			財源内訳	一般財源	0千円
				特定財源	0千円
				うち補助金	0千円
			うち市債	0千円	
事業（施設）の概要	QURUWA戦略とは 乙川リバーフロント地区の多様な魅力を味わうことができるまちの主要回遊動線を「QURUWA」と名付け、同地区内の豊富な公共空間を活用して、パブリックマインドを持つ民間を引き込む公民連携プロジェクト(QURUWAプロジェクト)を実施することにより、回遊を実現させ、その波及効果として、まちの活性化(暮らしの質の向上・エリアの価値向上)を図る戦略。 ※QURUWAとは…名鉄東岡崎駅、乙川河川緑地、桜城橋、中央緑道、籠田公園、りぶら(図書館交流プラザ)、岡崎公園など公共空間の各拠点を結ぶ主要回遊動線。かつての岡崎城跡の「総曲輪(そうぐるわ)」の一部と重なること、また、動線が「Q」の字に見えることから「QURUWA」と命名。				
					
	まちの主要回遊動線QURUWA及び各QURUWAプロジェクトの事業内容				
	敷地面積	—	建築面積	—	
			延べ床面積	—	
規模・構造	—				
参考URL	http://www.city.okazaki.lg.jp/300/306/p022685.html				

事業名		「岡崎市プログラミング学習」の全市的な実施			
事業期間	令和元年度～	事業費	総事業費		
			0千円		
			財源内訳	一般財源	0千円
				特定財源	0千円
			うち補助金	0千円	
			うち市債	0千円	
事業（施設）の概要	新学習指導要領の実施に先駆けて、令和元年度より全市一斉で「岡崎市プログラミング学習」に取り組み、子供たちの論理的思考力や情報活用能力を育成している。 【主な特長】 ①独自カリキュラムは、6年間で24単元の授業で構成されており、各教科の特性に合わせて、プログラミング活動を無理なく取り入れたものになっている。 ②授業づくりの4点セット(学習指導案、ワークシート、教材プログラム、操作説明動画)が準備されていて、全ての教員が見通しをもって指導できるようになっている。 ③全市必修化を実現するために充実したICT環境と研修体制を整えている。iPad等のICT機器が整備されており、指導員が各校を巡回して指導・助言にあたっている。				
					
					
敷地面積	—	建築面積	—		
		延べ床面積	—		
規模・構造	—				
参考URL					

事業名		岡崎市こども発達センター等整備運営事業（こども発達センター部分）			
事業期間	平成29年度～	事業費	総事業費		1,602,337千円
			財源内訳	一般財源	1,602,337千円
				特定財源	0千円
				うち補助金	0千円
			うち市債	0千円	
こども発達センターは平成29年4月福祉の村にオープンし、発達に心配のある主に就学前の子に対して発達に関する相談、医療、療育を総合的に提供する複合施設です。PFI事業として施設整備等を行っています。センター内の「相談センター」は子どもの発達についての心配事などの相談に応じ、「医療センター」は、診察、発達検査、リハビリテーションによる医療を提供します。また、「支援センター」は、専門的な療育を提供し、子どもの発達を促すことで、生活習慣と社会性を育み、地域の保育園、幼稚園への移行を支援します。 (1) 利用時間：午前8時30分～午後5時15分（有料施設は午前9時～午後9時） (2) 休業日：日祝日、12月29日～翌1月3日（有料施設は月祝日、12月29日～翌1月3日） (3) 駐車場：66台（西側46台、東側20台）					
事業（施設）の概要					
					
敷地面積		建築面積		約3,304㎡	
		延べ床面積		約5,506㎡	
規模・構造		鉄筋コンクリート造地上3階建（既存部分は2階及び平屋建て）			
参考URL		http://www.city.okazaki.lg.jp/1500/1511/p020869.html			

事業名	自主防災活動支援事業				
事業期間	平成18年度～	事業費	令和4年度		11,000千円
			財源内訳	一般財源	11,000千円
				特定財源	0千円
				うち補助金	0千円
			うち市債	0千円	
「自助」の観点から、様々な自主防災活動を支援 ●防災マップづくり支援:平成18年度からDIGの手法を用い、町内会による防災マップ作製支援。全556町内会のうち543町内会で作製済み(DIG:地図を囲んでゲーム感覚で災害時の対応策を考える災害図上訓練)。 ●地区防災計画策定支援:平成27・28年度の2か年で8地区(各年4地区)をモデル事業地区に選定、地区防災計画策定支援事業を実施(ワークショップ・検討会開催、アドバイザー派遣、講演会開催など)。平成29年度にモデル地区での2か年の成果として「地区防災計画策定マニュアル」を策定した。 ●自主防災活動資機材等整備費補助:町内会等の自主防災組織に対して、防災倉庫の設置などを支援するための補助制度。					
事業（施設）の概要					
	成果品の写真(町防災マップ)				
	敷地面積	—	建築面積	—	
			延べ床面積	—	
規模・構造	—				
参考URL	https://okazaki-bousai-portal.transmod.jp/sonae/104.html				

事業名	平成20年8月末豪雨と浸水警報装置整備事業			
事業期間	平成21年度 ～ 平成25年度	事業費	総事業費 101,583千円	
			財源内訳	一般財源 63,583千円
				特定財源 38,000千円
				うち補助金 38,000千円
				うち市債 0千円
事業（施設）の概要	平成20年8月末豪雨では、時間雨量146.5mmという8月としては気象庁の観測史上最大である未曾有の降雨に襲われ、市内全域に甚大な被害を被りました。こうした局地的な短時間での集中豪雨、いわゆるゲリラ豪雨に対しては、観測雨量を基とした避難勧告等避難関連情報の発令といった従来の対応では限界があることも否めません。 そこで、降雨状況により、住民へ迅速に浸水状況を伝える手法として試行的に導入したのが浸水警報装置です。2段階の閾値を設定し、サイレンやアラートメールで危険をお知らせします。しかしながら、導入当初、内水氾濫については浸水想定区域などの法的根拠が全くなく、運用を開始するまでは試行錯誤を繰り返す苦難の道程でした。 観測体制の強化と情報提供 水位計・浸水計と連動した警報装置 【警報装置】  市民への情報提供 監視・遠隔制御 DBサーバ 住宅地 浸水常襲地区 中小河川 水位計 浸水計 住宅地への浸水計の設置 → 内水氾濫対策 中小河川への水位計の設置 → 外水氾濫対策 連動した自動警報装置の整備 浸水警報装置の概略図  浸水警報装置を活用した浸水情報提供システムのイメージ			
	敷地面積	—	建築面積	—
		—	延べ床面積	—
	規模・構造	水計16基、警報器19基		
	参考URL	https://okazaki-bousai-portal.transmod.jp/sonae/106.html		

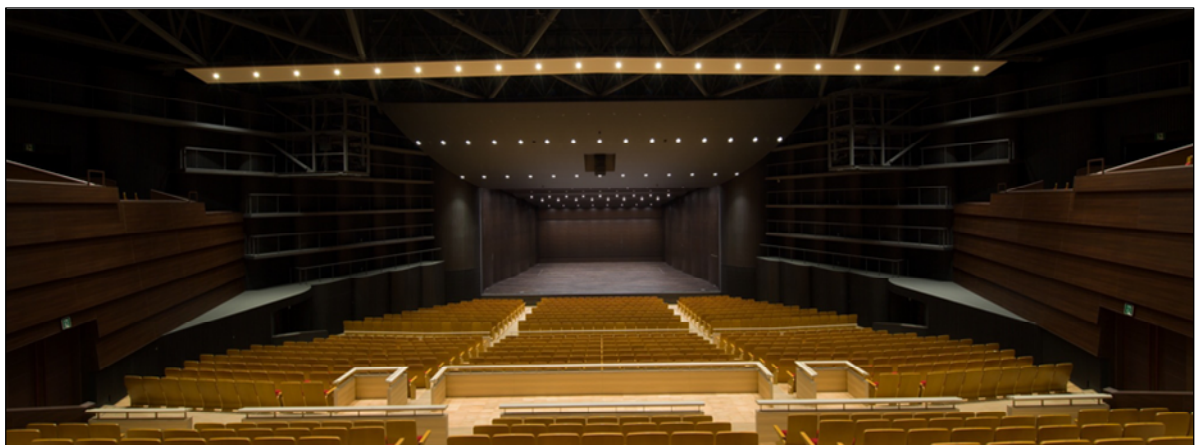
事業名	中央クリーンセンター運営事業				
事業期間	平成23年度～	事業費	総事業費 18,300,000千円		
			財源内訳	一般財源	2,300,000千円
				特定財源	16,000,000千円
				うち補助金	5,900,000千円
				うち市債	5,900,000千円
うち基金	4,200,000千円				
事業（施設）の概要	本施設の特徴は、シャフト式ガス化溶融によるごみ処理によって発生する熱エネルギーを活用し、高効率発電を行っています。また、溶融物（スラグ・メタル）を全量再資源化することにより、最終処分場への埋立量が大幅に削減可能となりました。八帖クリーンセンターから発生する灰も溶融処理することによって、最終処分場の延命化を図っています。 施設の立地場所は、自然に囲まれた中にあり、周辺環境に配慮したビオトープや自然調整池を配した施設となっています。 【主用設備概要】 処理能力：380t／日（190t／日×2炉） 処理方式：シャフト炉式ガス化溶融施設（コークスベッド式） 燃焼ガス冷却方式：廃熱全量ボイラー方式（高効率型） 余熱利用設備：蒸気タービン発電（10,500kw） 溶融物処理設備：水冷方式				
					
	中央クリーンセンター施設全景				
	敷地面積	77,831㎡	建築面積	6,753㎡	
延べ床面積			16,100㎡		
規模・構造	工場棟：鉄骨造 8階建 管理計量棟：鉄骨造 4階建				
参考URL	http://www.city.okazaki.lg.jp/1200/1210/1248/p010199.html				

事業名	道の駅「藤川宿」整備事業				
事業期間	平成19年度 ～ 平成24年度	事業費	総事業費 1,800,000千円		
			財源内訳	一般財源	700,000千円
				特定財源	1,100,000千円
				うち補助金	1,100,000千円
			うち市債	0千円	
事業（施設）の概要	道の駅「藤川宿」の特徴的な取り組みとして、「道路利用者への快適な休憩施設の提供」、「地域情報、観光情報の提供」、「環境に配慮した設備の設置」、「防災拠点としての活用」の主な4つがあります。「道路利用者への快適な休憩施設の提供」は、24時間利用可能な駐車場やトイレのほか、国道1号という立地特性を考慮し、コンビニエンスストアを出店し、年中無休24時間いつでも快適な休憩場所を提供しています。「地域情報、観光情報の提供」は、観光パネルや特産品の展示に加え、また浮世絵パネルなどで旧東海道宿を紹介し、来訪者を現地へ導く。「環境に配慮した設備の設置」は、駐車場照明にLEDを採用し、また電気自動車の充電設備と太陽光発電システムを設置しています。「防災拠点としての活用」は防災トイレ6基と駐車場・トイレ・情報提供施設用の非常用発電機1基を設置しています。 (1) 営業時間: 午前9時～午後6時(コンビニは24時間) (2) 休業日: 年中無休 (3) 駐車場: 第1駐車場102台、第2駐車場93台				
	  道の駅外観 きらり岡崎コーナー				
敷地面積	13,600㎡	建築面積	1,301.64㎡		
		延べ床面積	1,169.50㎡		
規模・構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建				
参考URL	http://www.fujikawa37.com/				

事業名	災害現場映像通報システム					
事業期間	令和元年10月 ～ 令和6年9月	事業費	総事業費		7,326千円	
			財源内訳	一般財源	7,326千円	
				特定財源	0千円	
				うち補助金	0千円	
			うち市債	0千円		
事業（施設）の概要	119番通報時に取得した通報者の携帯電話番号に対して、SMS（ショートメール）でURLを送信し、アクセスしてもらうことでビデオ通話が可能となり、現場の映像を指令センターで確認できるようになる。火災や救助事案では、災害状況を消防隊が現場到着する前に消防職員の視点で確認でき、適切な部隊選定や増援隊指令を行うことが可能となる。さらに、ビデオ映像をアップロードすることで、出動隊が現場の状況を確認することが可能となる。 救急事案では、バイスタンダー（現場に居合わせた人）による応急手当を指令員が直接映像で確認しながら、適切な方法を具体的に指導することが可能となる。応急手当の方法に自信がない場合などには、SMSで動画サイトのURLを送信、アクセスすることで、バイスタンダーが応急手当の方法を動画で確認しながら応急手当が可能となる。					
	災害現場映像通報システム 通報場所、災害現場の状況が一目瞭然 1 2 3 消防職員が通報者の電話番号を入力して送信 通報者がURLをクリック ビデオ通話スタート SMS 下記のURLにアクセスしてください。 https://www.okazaki.lg.jp/0000000000 期待する効果 出動隊への映像提供 4 救急事案 適切な応急手当の指導 火災・救助等 的確な部隊運用 災害現場 スムーズな現場活動					
	災害現場映像通報システムの流れと期待する効果					
	 					
	災害現場映像通報システムによる映像通報及び受信をしている様子					
	敷地面積	—	建築面積	—		
			延べ床面積	—		
	規模・構造	—				
	参考URL	https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1572/1653/p024585.html				

事業名	岡崎駅東土地区画整理事業				
事業期間	平成2年度 ～ 令和6年度	事業費	総事業費 35,764,000千円		
			財源内訳	一般財源 16,213,275千円	
				特定財源 19,550,725千円	
				うち補助金 10,193,700千円	
			うち市債 9,357,025千円		
事業（施設）の概要	「岡崎駅東土地区画整理事業」は、岡崎市の主要駅の一つであるJR東海道本線岡崎駅の東側を中心とする、施行面積約40haの区域で、岡崎駅地区を市南部の拠点として、都市基盤・商業環境の整備、交通体系の確立、居住環境の改善を図り、個性的で魅力あふれるまちづくりを行う事を目的とし、平成3年1月11日（決定の告示）事業認可を受け、現在までに10回の事業計画の変更を行い施行している。 総事業費は約358億円。事業施行期間は、平成3年1月14日から令和7年3月31日までの予定。				
	西三河都市計画事業岡崎駅東土地区画整理事業設計図  土地区画整理事業の名称 西三河都市計画事業 岡崎駅東土地区画整理事業 施行者の名称 岡崎市 施行地区の区域 岡崎市羽根町、柱町、針崎町、 羽根西一丁目、柱一丁目、針崎一丁目の一部 施行区域の面積 401,640㎡ 減歩率 18.6% 事業費 357億6,400万円 事業施行期間 平成3年1月14日から令和7年3月31日（35年間）				
敷地面積	—	建築面積	—		
		延べ床面積	—		
規模・構造	—				
参考URL	http://www.city.okazaki.aichi.jp/1400/1402/1419/p003442.html				

岡崎駅東土地区画整理事業の設計図

事業名	岡崎市民会館施設整備事業				
事業期間	平成27年度 ～ 平成28年度	事業費	総事業費 3,413,062千円		
			財源内訳	一般財源	2,142,324千円
				特定財源	1,270,738千円
				うち補助金	11,738千円
			うち市債	1,259,000千円	
事業（施設）の概要	岡崎市民会館は、昭和42年に建設された多目的ホールで、開館以来、市民の文化活動の拠点施設として広く親しまれてきました。しかし、開館から50年近く経過し、施設・設備の老朽化とともに、機能面においても多くの課題を抱えていました。 そこで、課題を解決し、より使い勝手のよい施設として再生させるべく、平成27年9月から吊り天井の撤去、舞台とフライの拡張、室内ダクトの外部化、3面スクリーンの新設などの大規模改修工事を進め、平成28年10月1日にリニューアルオープンしました。 (1) 開館時間:午前9時～午後9時30分 (2) 休館日:毎月第1、第3月曜日(祝日の場合は翌日以降の最初の平日) 12月29日～翌1月3日 (3) 駐車場:282台(うち17台は3時間の無料サービス)				
					
	市民会館の外観写真				
					
	市民会館あおいホールの内観写真				
敷地面積	17,737.48㎡	建築面積	6,709.51㎡		
		延べ床面積	9,453.71㎡		
規模・構造	(ホール棟・会議棟) 鉄筋コンクリート造 地下2階地上4階				
参考URL	https://shiminkaikan.com/index.html				

事業名	岡崎市こども発達センター等整備運営事業（友愛の家部分）				
事業期間	平成30年度 ～ 令和15年度	事業費	総事業費 1,272,379千円		
			財源内訳	一般財源	1,272,379千円
				特定財源	0千円
				うち補助金	0千円
			うち市債	0千円	
事業（施設）の概要	友愛の家は障がい者の方を支援する施設の1つで、創作的活動または生産活動の機会の提供や、社会との交流促進などを行っています。 岡崎市こども発達センター等整備運営事業により、平成30年4月にリニューアルオープンしました。リニューアルオープンに伴い、新たに基幹相談支援センターと障がい者虐待防止センターを施設内に置くとともに、障がい者の方向けの講座開催回数の増加により機能の充実を図りました。 (1) 利用時間: 午前8時30分～午後9時 (2) 休業日: 月曜日、12月29日～1月3日、第3日曜日 (3) 駐車場: 76台				
					
					
	友愛の家エントランスホール				
敷地面積	6,673.2㎡	建築面積	1,682.98㎡		
		延べ床面積	2,575.18㎡		
規模・構造	鉄筋コンクリート造2階建(立体駐車場は鉄骨造1層2段)				
参考URL	https://fukushi-okazaki.jp/yyuainoie/				

事業名	株式会社岡崎さくら電力			
事業期間	令和2年度～	事業費	総事業費 5,100千円	
			財源内訳	一般財源 5,100千円
				特定財源 0千円
				うち補助金 0千円
			うち市債 0千円	
事業（施設）の概要	株式会社岡崎さくら電力とは 市が保有する廃棄物発電の電力を調達し、公共施設を中心に電力を供給する。CO₂排出係数の低い環境価値の高い電気を市内で消費、循環させるために設立した地域新電力会社。 期待する効果 ・エネルギー地産地消の実現と再生可能エネルギーの普及拡大をすること。 ・利益を活用した市域の脱炭素を推進し、避難所の自立化等で市民に還元すること。 ・市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量を削減すること。 岡崎市内の電源 中央クリーンセンター 八帖クリーンセンター 市内メガソーラー 電力会社に売電 地産電力が岡崎市外へ流出 電力供給 岡崎市内外のお客様 岡崎市内の公共施設 市役所等 市立小中学校等 電力購入費が岡崎市外へ流出 本社が岡崎市外にある様々な電力会社 〇〇電力 (株)岡崎さくら電力設立前 岡崎市内の電源 中央クリーンセンター 八帖クリーンセンター 市内メガソーラー 地産電力を売電 岡崎市 出資 民間企業4社 出資 岡崎さくら電力 Okazaki Sakura Electric power 地消 岡崎市内へ供給 岡崎市内の公共施設 市役所等 市立小中学校等 事業利益 再生可能エネルギー普及拡大の実現および エネルギーの地産地消に資する事業等に活用 ・事業利益の一部は岡崎市へ寄附を予定 ※本事業目的に親和性の高い 企業等を中心に順次民間拡大予定 (株)岡崎さくら電力設立後			
	敷地面積	—	建築面積	—
		延べ床面積	—	
規模・構造	—			
参考URL	https://okazakisakura-epower.co.jp/company.php			

事業名	脱炭素先行地域事業				
事業期間	令和5年度～	事業費	総事業費		7,578,729千円
			うち市の事業費		5,239,494千円
			財源内訳	一般財源	393,074千円
				特定財源	4,846,420千円
				うち補助金	4,846,420千円
うち市債	0千円				
【どうする脱炭素？岡崎城下からはじまる、省エネ・創エネ・蓄エネ・調エネのまちづくり】 町内会の加入率が非常に高いという地域特性を活かし、中心市街地である「QRUWAエリア」において、町内会活動を核として太陽光発電・蓄電池を最大限導入するとともに、新設の木質バイオマス発電や既存のごみ発電を活用して、脱炭素化を実現する。また、公用車のEV化やカーシェアリングを進め、EV製造事業者である三菱自動車と連携してEV車から回収されるバッテリーを定置型蓄電池として住宅や防犯灯などに再利用するなど、資源の有効活用とサプライチェーン全体の環境負荷低減により、産業構造の転換を図る。 事業（施設）の概要 エリア内住居 照明灯のスマート化 太陽光発電＋蓄電池 エネファーム エリア内民間施設 自家消費 太陽光 高効率 空調 カーシェア 太陽光 新設ZEB 大型蓄電池 公共施設 庁舎 自家消費 太陽光 大型蓄電池 図書館 自家消費 太陽光 愛知県 庁舎 自家消費 太陽光 高効率 空調 蓄電池 岡崎さくら電力 エネマネ連携 バイオマス発電 中央クリーンセンター (ごみ発電) 岩石蓄熱発電 中央総合公園 (災害活動拠点) のり面、未利用地 などに再エネ電源 大型蓄電池 カーポート型PV整備 EV車の利用環境整備 民間事業者敷地 駐車場、未利用地 などに再エネ電源 脱炭素先行地域の施策をまとめたイメージ 目指す姿：地方創生（人口増加・産業発展）と脱炭素を両立するまち 脱炭素が牽引する 都市の課題解決 モデル 課題2 課題1 脱炭素 地域新電力の 利益活用 モデル 多様な主体との まちづくり連携 モデル 地域 自治体 事業者 金融 3つのモデルで目指す姿を 市内他地域や他自治体へ展開していけるまち 脱炭素先行地域の 目指すイメージ					
参考URL	https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1564/3512/p037111.html				

事業名	児童生徒健全育成推進事業（校内フリースクール）				
事業期間	令和2年度～	事業費	総事業費		—
			財源内訳	一般財源	—
				特定財源	—
				うち補助金	—
			うち市債	—	
事業（施設）の概要	「学校が子供に適応する」という新たな価値観のもと、すべての子供の可能性や能力を最大限に伸ばす誰一人取り残さない教育の推進を図る。 ①校内フリースクールF組の理念は、「適応するのは子供ではなく、学校である」「通常学級と同じ、1つの学級として扱う」「教室復帰ではなく社会的自立を目指す」等である。 ②令和2年度にパイロット校として3校設置し、校内フリースクールの理念を浸透させながら段階的に設置を拡大し、令和5年度時点で市内全中学校20校に設置している。				
	  校内フリースクールの教室写真				
敷地面積	—	建築面積	—		
		延べ床面積	—		
規模・構造	—				
参考URL					

校内フリースクールの教室写真

事業名	大河ドラマ「どうする家康」活用推進事業				
事業期間	令和4年度 ～ 令和5年度	事業費	総事業費		806,233千円
			財源内訳	一般財源	321,262千円
				特定財源	484,971千円
				うち補助金	40,700千円
			うち市債	0千円	
事業（施設）の概要	2023大河ドラマ「どうする家康」を契機とし大河ドラマ館の設置や観光プロモーションなどを展開し、岡崎への誘客による消費拡大・経済活性化のほか、知名度向上、歴史の再認識、市民の皆様の機運醸成を図る。				
	 どうする家康 岡崎 大河ドラマ館外観  観光土産店「おかざき屋」外観				
敷地面積	—	建築面積	—		
		延べ床面積	ドラマ館1017㎡、便益施設 475㎡		
規模・構造	ドラマ館RC造、便益施設鉄骨造				
参考URL	https://okazaki-kanko.jp/dousuru-taiga				



令和5年3月発行

愛知県岡崎市 行政視察のご案内

発行 岡崎市議会事務局 総務課

〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地

TEL 0564-23-6382